



斎藤與里『裏磐梯』1953年

国立公園の風景 山・川・海

巨匠たちが描いた日本の自然

2002年 8月3日(土) — 9月1日(日)

□休館日 毎週月曜日
□開館時間 10:00～18:00 (最終入館は17:30)
□観覧料 大人500(400)円 高・大学生300(250)円 小・中学生200(150)円
※ () 内は20人以上の団体料金

□主催 喜多方市美術館
□後援 福島民報社/福島民友新聞社/朝日新聞福島支局/読売新聞福島支局/毎日新聞福島支局/河北新報社福島総局/
NHK福島放送局/福島テレビ/福島中央テレビ/福島放送/テレビユー福島/ラジオ福島/ふくしまFM
□協力 財団法人 国立公園協会 □企画協力 株式会社 アートプランニングレイ

KITAKATA CITY MUSEUM OF ART

喜多方市美術館

喜多方市字押切2-2 〒966-0094 Tel.0241-23-0404 Fax.0241-23-0406
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/> e-mail:bijyutsu@city.kitakata.fukushima.jp

巨匠たちが描いた日本の自然



1



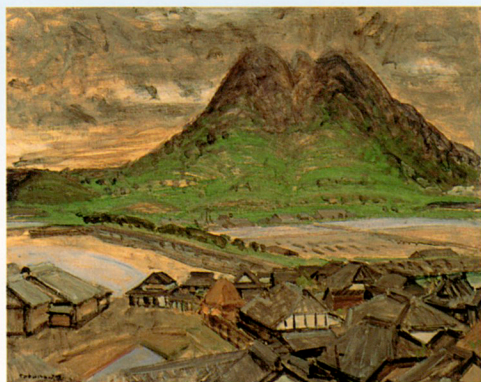
2



3



4



5



6

21世紀は心の時代であると言われています。経済の高度な発展や成長に象徴される時代が終わり、自然との共生や人間の本質を見つめる生き方が、これからの私たちの社会に台頭してくるとされています。わが国では幸いなことにまだ、全国どこでも身近なところで豊かな自然にふれることができ、四季折々の変化を楽しむことができます。自然の移ろいを意識することで心が和み、心が豊かになるのは、私たち人間ももとを質せば、自然界で生きる動物であるからなのかも知れません。

このたび、財団法人 国立公園協会の協力を得て、『巨匠たちが描いた日本の自然』展を開催することになりました。作品は昭和5年から昭和63年にかけて、当時、第一線で活躍していた79人の作家が、それぞれに国立公園の風景を描いたものです。喜多方市美術館では、国立公園の風景作品の中から50点を紹介します。また、この展覧会からは、いわゆる15年戦争の時代や、その後の新しい芸術の萌芽や大成など、激しく動いた昭和期のわが国洋画界の歴史の一端をうかがい知ることができます。

国立公園は、北は利尻礼文サロベツから南は西表まで、全国28カ所におよんでいます。国立公園の面積は国土の約5.4パーセントを占め、その保全と自然とのふれあいを目的として指定されていますが、これらはまさにわが国を代表するすぐれた自然景観の区域です。

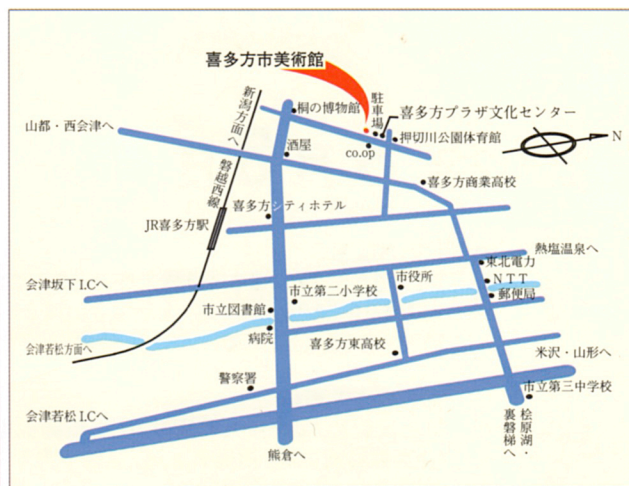
自然破壊が取り沙汰され、地球規模でその修復と保護が緊急の課題とされている今日、国立公園の風景作品をとおして、改めて自然と私たちとの関係について考えるきっかけとなることを、心から願っています。

出品作家

中根寛	中野和高	正宗得三郎	奥瀬英三	須田国太郎
辻永	猪熊弦一郎	和田英作	刑部人	海老原喜之助
大久保作次郎	中村善策	山本鼎	牛島憲之	宮本三良
柚木久太	田辺至	山下新太郎	鍋井克之	石川寅治
林武	小山敬三	中沢弘光	野間仁根	坂本繁二郎
北川民次	佐竹徳	高田誠	田村孝之介	石井柏亭
向井潤吉	児島善三郎	鬼頭鍋三郎	小糸源太郎	三岸節子
木下義謙	福沢一郎	小磯良平	満谷国四郎	有島生馬
斎藤興里	中川紀元	川口軌外	藤島武二	中山巍
寺内萬治郎	三栖右嗣	鹿子木孟郎	梅原龍三郎	山本貞

◇ 交通

- ・ JR喜多方駅から
約1.5km 徒歩20分
タクシーで5分
- ・ 磐越自動車道会津若松ICから
約19km 車で30分
- ・ 磐越自動車道会津坂下ICから
約20km 車で30分



- 1 中根寛 『サロベツ原野より利尻礼文を望む』
- 2 猪熊弦一郎 『塩原の溪流』
- 3 中沢弘光 『上高地大正池』
- 4 牛島憲之 『日御碕』
- 5 宮本三郎 『姫島』
- 6 坂本繁二郎 『暁明の根子岳』